



地域おこし協力隊 活動状況報告



浦幌町の皆様こんにちは、地域おこし協力隊林業担い手担当の鴻野です。

山の緑が鮮やかで夏が好きな僕にとっては気持ちが高揚するような季節の到来まで間近ですね。

林業担い手担当として2年近く経ちましたが、今年から新しく埴田なみさんが着任されたので協力して浦幌の森や木をうまく活用できるようなことを進めていきたいと思っています。

さて、最近させていただいた業務で皆さんの目に触れる機会が多いものは何と言っても4月より開園した浦幌町立認定こども園の家具デザイン製作ではないかと思えます。

バトンプラスさんと研修させていただく中でまずは何の種類の木を使って・どのように切り出し・どのように組み立てるか、といったところから検討しました。

カラマツは浦幌で一番多く採れる木なので、浦幌で採れたカラマツを使用することは、お話をいただいた時から決めていたのですが、カラマツは反りやねじれが強い性質をもっているため、無垢材では使用せず薄くしたカラマツを直交に三層重ねる「三層クロスパネル」を採用することで割れや反りを軽減するようにしています。

浦幌では製作できないので、加工工場がある旭川まで浦幌の材料を運んで頂き、加工したものを送り

返していただくという形をとりました。

また子ども達が安心して安全に使えるように角は丸く滑らかに仕上げました。当然のことではあるのですが、いざ加工するとなると思っていた以上に工程が多く、バトンプラスの皆さんとインターンで来てくれたいた大学生などとともに手を動かすことで気持ちのこもったテーブルが出来上がりました。

認定こども園の家具を担当させていただいて実感したことは同じものを同じようなクオリティで作っていくことの難しさです。木は樹種が一緒でも1本1本の性格が違います。ですので流れ作業でできるものではなく一つ一つ向き合わなければいけません。無理に加工すると欠けてしまったり割



認定こども園家具製作風景

れてしまったり。まだまだ僕には木の性格をきちんと読み取ることはできないのですが、今回は多くの木に触れることができたのでこの木はこういう性格だからこうした方がうまく削れるな、とか少しは理解できるようなになってきた良いです。そういう点で人と似てるかもしれないですね。少しずつ、その人にあつたコミュニケーションの形を探してうまく付き合おうと努めたいと思います。



認定こども園家具

ね。

● 地域おこし協力隊 鴻野 祐 (こうの ゆう) 林業担い手担当

この状況で海外にしばらく行けないのが残念です。先日久々に海外の友人と話してみたら英語が全然しゃべれなくなっていました。聞くことは問題ないのですが…忘れないうちに勉強したいと思います。



● 地域おこし協力隊の活動を紹介する隊員紹介 Facebook ページ
 ☆北海道浦幌町地域おこし協力隊 ⇒ <https://www.facebook.com/urahoro.chiikiokoshi>